

令和2年度
劇場・音楽堂等機能強化推進事業
(地域の中核劇場・音楽堂等活性化事業)
成果報告書

団 体 名	公益財団法人佐世保地域文化事業財団	
施 設 名	アルカス SASEBO	
助 成 対 象 活 動 名	公演事業・人材養成事業・普及啓発事業	
内 定 額 (総 額)	28,669	(千円)
	公 演 事 業	19,646 (千円)
	人 材 養 成 事 業	6,265 (千円)
	普 及 啓 発 事 業	2,758 (千円)

(1) 令和2年度実施事業一覧【公演事業】

番号	事業名	主な実施日程	概要 (演目、主な出演者、スタッフ等)	入場者・参加者数	
		主な実施会場		目標値	実績値
1	声優朗読劇フォアレゼン ベートーヴェン秘話 「今宵、再び…」※	令和2年5月10日(日) (中止)	桑原由気、野上翔、市川太一、鈴木峻太(声優)、中野振一郎(チェンバロ演奏)	目標値	700
		大ホール		実績値	0
2	東京佼成ウインドオーケストラ※	令和3年2月20日(土)	丸田悠太(フルート)、宮村和宏(オーボエ)、堀風翔(ホルン)、福井弘康(ファゴット)、原浩介(クラリネット)	目標値	990
		大ホール		実績値	111
3	レジデンス弦楽四重奏団 アルカス・クァルテット 特別公演～弦楽三重奏の調べ～※	令和2年7月18日(土) (中止)	川崎洋介(ヴァイオリン)、西野ゆか(ヴァイオリン)、柳瀬省太(ヴィオラ)、辻本玲(チェロ)	目標値	300
		中ホール		実績値	0
4	石坂団十郎・小菅優 デュオ・リサイタル※	令和2年10月2日(金) (中止)	無伴奏チェロ組曲第3番 ハ長調 BWV1009(バッハ) チェロ・ソナタ第4番 ハ長調 op.102, No.1(ベートーヴェン)ほか	目標値	400
		中ホール		実績値	0
5	ミュージカル「いのちでんこ」※	令和2年8月9日(日)	制作/みんなのしるし 作・総合演出/前川十之朗 構成・演出/田中圭介 振付/小山柚香	目標値	900
		大ホール		実績値	76
6	アルカス九十九島音楽祭 前夜祭 ハイカラ八重奏 ブラックボトムブラスバンド Guest 綾戸智恵※	令和2年8月21日(金) (令和3年度に延期)	ブラック・ボトム・ブラス・バンド ユータ919(トランペット)、ヤッシー(トロンボーン)、モンキー(アルト・バリトンサクソックス)、イギー(テノールサクソックス、フルート)、タモツ(スーザフォン)、セイヤ(スネアドラム)、アントン(ベースドラム) 綾戸智恵(ヴォーカル)	目標値	1,300
		大ホールほか		実績値	0
7	アルカス九十九島コンサート※	令和2年8月22日(土)	永安淑美(ソプラノ)、角銅真実(うた)	目標値	20,000
		大ホール		実績値	280
8	新国立劇場バレエ団 こどものためのバレエ劇場 「竜宮」※	令和2年9月19日(土)	出演/新国立劇場バレエ団 演出・振付・美術・衣裳/森山開次	目標値	1,100
		大ホール		実績値	604
9	NHK交響楽団 佐世保公演※	令和3年3月6日(土)	指揮/下野竜也 ソリスト/三浦文彰(ヴァイオリン) 管弦楽団/NHK交響楽団	目標値	1,300
		大ホール		実績値	809
10	アルカス SASEBO オリジナル室内オーケストラ「チェンバー・ソロイスト・佐世保」※	令和2年12月6日(日)	音楽監督・ヴァイオリン/豊嶋泰嗣 ヴァイオリン/東珠子、漆原啓子、小西果林、柴田夏未、清水颯輝、田村安紗美、戸上眞里、丸山韶 ヴィオラ/安保恵麻、藤村知史、前山杏 チェロ/佐々木賢二、櫃本瑠音、山本裕康 コントラバス/石川滋、岡本哲史 チェンバロ/中野振一郎	目標値	450
		中ホール		実績値	195

※ …新型コロナウイルス感染症の影響があったもの

(2) 令和2年度実施事業一覧【人材養成事業】

番号	事業名	主な実施日程	概要 (演目、主な出演者、スタッフ等)	入場者・参加者数	
		主な実施会場		目標値	実績値
1	アルカス SASEBO ジュニアオーケストラ※	令和2年4月26日(日) (中止)	指揮/清水醒輝 管弦楽/アルカス SASEBO ジュニアオーケストラ	目標値	1,000・100
		令和3年3月14日(日)		実績値	648・69
2	アルカス演劇さーくる※	大ホールほか	脚本・演出/宮原清美 出演/佐世保市内外の市民	目標値	入場者 360・ 参加者 30
		令和3年2月27日(土) 28日(日) (令和3年度に延期)		実績値	0・49
		イベントホールほか			

※ …新型コロナウイルス感染症の影響があったもの

(3) 令和2年度実施事業一覧【普及啓発事業】

番号	事業名	主な実施日程	概要 (演目、主な出演者、スタッフ等)	入場者・参加者数	
		主な実施会場		目標値	実績値
1	アルカス SASEBO ロビーコンサートスペシャル 2020 ※	令和2年9月27日(日)	尾下香織(マリンバ)・梅野衣央梨(ピアノ)、山口紗弥(ピアノ)、ツインズ 大橋理渚(クラリネット)・梶原捺央(クラリネット・ピアノ)、久野恵理(ソプラノ)・下条絵理子(ピアノ)	目標値	400
		中ホール		実績値	160
2	ランチタイムコンサート ※	令和2年11月6日(金) 令和3年2月5日(金)	11/6 田村安紗美(ヴァイオリン) 安田結衣子(ピアノ) 2/5 真部裕(ヴァイオリン) 森下滋(ピアノ)	目標値	600
		中ホール		実績値	213・200
3	ドレミであそぼう!~3才からのクラシック~※	令和2年6月20日(土) (中止)	おんがくしつトリオ 内藤晃(ピアノ)、下中拓哉(リコーダー)、菅谷詩織(鍵盤ハーモニカ)	目標値	286
		イベントホール		実績値	0
4	セレノグラフィカ ダンスプロジェクト※	①令和3年2月13日(土) 14日(日) ②令和2年12月12日(日) (中止)	講師/セレノグラフィカ 阿比留修一、隅地茉歩 対象/①佐世保市および近郊に在住の小学生 ②一般(高校生以上)	目標値	参加者 ①30 ②30
		リハーサル室		実績値	①17 ②0
5	アルカス SASEBO ロビーコンサート※	①令和2年5月16日(土) ②令和2年7月25日(土) ⇒①②中止 ③令和2年12月5日(土) ④令和3年2月6日(土)	12/5 アンサンブル・ゼーレ (金管五重奏+打楽器) 2/6 アルカス SASEBO ジュニア オーケストラ、ジュニア オーケストラアカデミー 10/17 小田原広子(メゾ・ソプラノ)、 松尾律子(ソプラノ)、谷口正美 (コントラバス)、釣谷玲水(フルート)、 梶原由香里(ピアノ)	目標値	1,000
		アウトリーチ 令和2年10月17日(土) 大・中ホールほか		実績値	345
6	アルカス SASEBO 音楽アウトリーチ事業「演奏家がやってくる!」※	令和2年11月9日(月) ~令和3年3月8日(月)	上野裕介(クラシックギター) ツインズ(クラリネットデュオ) 大橋理渚(クラリネット) 梶原捺央(クラリネット・ピアノ)	目標値	600
		市内小学校		実績値	567

※ …新型コロナウイルス感染症の影響があったもの

2. 自己評価

(1) 妥当性

自己評価
社会的役割（ミッション）や地域の特性等に基づき、事業が適切に組み立てられ、当初の予定通りに事業が進められていたか。
【社会的役割（ミッション）】 財団は指定管理者として、市から委託され「佐世保市文化振興基本計画」及び財団設立趣旨に則り運営を行っており、文化活動水準の向上、文化の発信、多様で豊かな地域文化の創造を目的として、優れた音楽・舞台芸術を発信する鑑賞事業、多様な芸術文化を紹介し理解を深めてもらうための普及事業、既存の文化活動水準の向上と次世代の文化人を育てる育成事業、芸術文化を通じた地域住民の交流を促進する交流事業、地域独自の文化の創出を支援する創造事業、これらの5つの事業を実施している。
【事業の実施について】 新型コロナウイルス感染症の拡大に伴い、4月には開館以来、初めて約1ヵ月（4/22～5/24）の休館を余儀なくされ、多くの自主・共催事業等が中止又は延期になるなど財団の運営に大きな影響が出た1年であった。 財団の使命である文化事業の実施や施設の提供を行うために、施設の消毒や入場者の制限など感染防止対策を行ったものの、自主・共催事業では51本中24本の事業が中止又は延期となり、施設の利用者は前年度比66%減の138,237人となった。チケット販売収入は50%減の18,738千円、施設利用料等の収入も45%減の50,009千円という結果であった。
◆鑑賞事業 （予定）自主事業17本、共催事業2本 計19本 （中止）自主事業4本、共催事業2本 （延期：令和3年度へ）自主事業2本 計8本 （実施）追加事業1本、自主事業11本 計12本
◆市民参加型事業 （予定）自主事業24本、共催事業2本 受託事業4本 計30本 （中止）自主事業10本、共催事業2本、受託事業2本 （延期：令和3年度へ）自主事業2本 計16本 （実施）自主事業12本、追加事業1本、受託事業2本 計15本
助成に値する文化的、社会的、経済的意義等が継続して認められるか。
【文化的意義】 質が高い文化芸術にふれる機会を会館ならではの事業として昇華するなど、地方都市において困難な独自の事業展開に挑戦している。
【社会的意義】 市民参加型事業では教育機関や福祉施設を通じ、文化芸術の普及を推進している。また、ジュニアオーケストラや演劇さーくるでは、人と人とを繋ぐコミュニティの場になっている。
【経済的意義】 令和2年度は、新型コロナウイルス感染症拡大の影響を受け規模縮小となったが、音楽祭などの総合事業において市内各業者を巻き込んだマルシェを実施することで、地域の活性化にも寄与している。

(2) 有効性

自己評価

目標を達成したか。

【公演事業】目標：国内外で活躍する一流のアーティストを招聘し地方都市に居ながらも最先端の優れた文化芸術に触れる機会を作ること、佐世保から音楽文化を発信することを狙い、公演事業に取り組む。

60代未満の観客層の増加、経年事業への関心度の増加を狙う。

結果：新型コロナウイルス感染症拡大防止のため事業番号1、3、4、6は中止となったが、2、5、7、8、9、10は規模を縮小し、感染症対策を講じた上で実施した。満足度は大変満足が前年比+2.4%。これはコロナ禍でありながらも事業を実施したことによる成果であると考え。来場者アンケートでは、例年に比べ開催したことへの感謝の意を表す声が多く寄せられている。

60代未満の観客層の増加については、東京佼成ウインドオーケストラやシエナ・ウインド・オーケストラ（※申請外事業）での吹奏楽部を主とした学生の来場者が多く、10代の来場者は前年比+3.3%の結果となった。

継続事業への関心度については、「アルカス・クアルテット」と「Mプロジェクト」は現状維持、「チェンバー・ソロイスト・佐世保」は、「公演を見たことがある」[知っている]がそれぞれ増加。“佐世保でしか聴くことのできないオリジナルの企画”の特性が際立ち、佐世保ならではの企画を発信することができたことに加え、聴衆の多くが過去の同公演の来場者であり、継続して取り組んできたことが集客の成果として表れていることが分かった。

【人材養成事業】目標：多様な市民がホールを通じて文化芸術に能動的にふれることにより、地域文化の向上だけでなく、地域の絆を深め、将来的に地域を支える人材を育成することを目標に取り組む。

結果：ジュニアオーケストラ、演劇さーくるとともに、「3つの密」は避けられず、様々な年齢・立場の市民が集まり活動を行うことは、とてもリスクのあることであり、一進一退を繰り返しながらの活動となったが、これらの活動は、参加者にとって、自己を表現するとても大事な場であり、人には文化芸術が必要だということを実感した。

◆アルカス SASEBO ジュニアオーケストラ

4月の第8回定期演奏会は中止、令和3年3月の第9回定期演奏会は規模を縮小して実施した。演奏会の中止や活動休止、練習再開後も常に様々な制限がある中での活動となったが、そんな中でも感染症対策を講じながら、みんなで何が出来るかを考え、音楽を創り上げたことは有意義であったと考える。

◆アルカス演劇さーくる

想定していた数を大きく上回る、7歳～85歳の老若男女に参加していただいた。様々な事情により辞退者はあるものの、本公演が延期になったことによるこの1年間のワークショップの積み重ねは、大きな舞台に立つことへの参加意欲・団結力の向上につながったと実感している。

【普及啓発事業】目標：無料で鑑賞できる公演や、低廉な料金で気軽に音楽を楽しむ公演、ホールデビューの機会となるような公演など様々な事業を実施する。

事業番号3は中止、事業番号1・2・4・5・6は新型コロナウイルス感染症拡大防止策を講じながら実施した。

可能な限り、感染症対策を講じ、会場や内容や対象を変えながら実施した。

いずれにしても、演奏機会の激減した演奏家にもお客様の前で演奏を披露する機会を提供することができ、お客様にもコロナ禍においても文化芸術に触れ、心を豊かにする機会を提供することが出来たと考える。

(3) 効率性

自己評価

アウトプットに対して、事業期間が適切で、当初の計画通りに進んだか。

アウトプットに対して、事業費が適切で、当初の計画通りに進んだか。

【事業期間】

事業実施までの流れとしては、実施日の5～6ヶ月前に事業毎に戦略検討会議を行い、企画内容や収支予算を見ながら実施内容を固めている。チケットの販売促進なども状況を見ながら適宜会議を行い、目標が達成されるよう取り組み、公演終了後には会議にて反省点を洗い出し、フィードバックすることで、次の類似事業に活かす体制を取っている。

令和2年度は、新型コロナウイルス感染症拡大の影響を受け、告知開始日・チケット発売日・事業実施とそれぞれ直前まで、実施の可否や対策等について協議が行われており、全ての事業において計画変更を余儀なくされた。

【事業費】

鑑賞事業

(収入減となった事業)

- ・東京佼成ウインドオーケストラ ・ミュージカル「いのちでんでんこ」
- ・新国立劇場バレエ団 こどものためのバレエ劇場「竜宮」 ・NHK交響楽団 佐世保公演
- ・アルカス SASEBO オリジナル室内オーケストラ「チェンバー・ソロイスツ・佐世保」

(中止した事業)

- ・声優朗読劇フォアレーゼン ベートーヴェン秘話「今宵、再び…」
- ・レジデンス弦楽四重奏団アルカス・クアルテット特別公演～弦楽三重奏の調べ～
- ・石坂団十郎・小菅優 デュオ・リサイタル

(延期した事業)

- ・アルカス九十九島音楽祭 前夜祭 ハイカラ八重奏 ブラックボトムブラスバンド Guest 綾戸智恵

人材養成事業 ※規模縮小して活動

(中止した事業)

- ・ジュニアオーケストラ第8回定期演奏会 ・アルカス演劇さーくる 「佐世保の物語」(仮)

普及啓発事業

(収入減となった事業)

ランチタイムコンサート

セレノグラフィカ ダンスプロジェクト

(中止した事業)

ドレミであそぼう！～3才からのクラシック～

(4) 創造性

自己評価

地域の文化拠点としての機能を最大限に発揮する優れた事業であった（と認められる）か。

オリジナル室内オーケストラ「チェンバー・ソロイスト・佐世保」、レジデンス弦楽四重奏団「アルカス・クァルテット」、「アルカス SASEBO ジュニアオーケストラ」を立ち上げ継続的な事業を行うこと、またクラシック音楽公演において年間を通して1人の作曲家をテーマに掲げる「Mプロジェクト」の対象公演にすることで、佐世保ならではの魅力を広く発信してきたと考える。

開館時から様々な公演事業の企画やヴァイオリンセミナー等で深く関わっていただいている豊嶋泰嗣氏（vn）には、「チェンバー・ソロイスト・佐世保」の音楽監督兼演奏家として、また、ジュニアオーケストラではミュージックアドバイザーを務めていただいている。豊嶋氏のご協力により地方都市にありながらも第一線で活躍している演奏家によるオリジナルの室内楽公演を実施できているほか、ジュニアオーケストラへの指導では、地域の子どもたちに対して第一線で活躍する演奏家ならではの質の高い教育を提供できている。

ジュニアオーケストラの普段の指導には地元演奏家が、ロビーコンサートの企画・運営には地元のピアノ・声楽・管弦楽器・和楽器の各ジャンルからロビーコンサート運営委員として参画しており、地域の様々な文化関係者の協力のもと運営している。

公演・人材養成・普及啓発事業のいずれも多様な文化に誰もが触れられるよう、また、それぞれが関わり合いながらその輪を広げられるよう取り組んでおり、文化拠点としての機能を最大限発揮できる事業を行えたと考えている。

【安全確保のための取り組み内容】※新型コロナウイルス感染症対策

- ・お客様の対応にあたるスタッフの健康状態の確認、手洗い、手指消毒の実施、マスク着用
- ・ホール内は常時換気（換気を強化するためにも、ドアを常に解放）
- ・館内のエレベーターでは1度に4名までの利用お願い
- ・館内およびホール内のロビーに設置されているイスの利用の制限
- ・マスクを忘れたお客様の対応としてマスクの販売（1枚／50円（税込））

《主催公演にお越しいただくお客様へお知らせ並びにご協力をお願い》

- ・37.5度以上の発熱があるなど、記載の症状に該当する場合の来場自粛。（咳、呼吸困難、全身倦怠感、咽頭痛、鼻汁・鼻閉、味覚・嗅覚障害、目の痛みや結膜の充血、頭痛、関節・筋肉痛、下痢、嘔気・嘔吐）
- ・咳エチケット、マスク等の着用、手洗い・手指の消毒への協力
- ・館内では人との距離を取った、ソーシャルディスタンスへの協力
- ・入場の際、非接触型体温計による検温、手指の消毒（37.5度以上の体温が高い方は入場不可）
- ・チケットはスタッフが目視にて確認、お客様ご自身でもぎり、半券を所定の箱に入れてもらう
- ・プログラムは予め着席可能な座席に配置もしくは、お客様ご自身で取っていただく
- ・ブランケットの貸出不可 ・ビュッフェ、CD販売の中止 ・出演者への花束、プレゼント受取不可
- ・「ブラボー」等の掛け声不可 ・分散退場 ・サイン会自粛 ・出演者への面会自粛
- ・来場者への連絡先確認用紙の提出依頼

自己評価

地域の実演芸術等の振興など、地域の文化芸術の発展につながった（と認められる）か。

育成事業の「アルカス SASEBO ジュニアオーケストラ」、市内の小学校に地元演奏家を派遣する普及事業の「音楽アウトリーチ事業 演奏家がやってくる！」など、地域の未来を担う子どもたちの育成に力を入れて取り組んだ。

平成 15 年から継続している全館を開放し市民が演奏を披露する「アルカス市民音楽祭（現・アルカス九十九島音楽祭）」、平成 16 年から行っている「ロビーコンサート」、そして平成 12 年のアルカス SASEBO 開館準備段階から市民の社会参画の機会として行ってきた「ホールボランティア」の活動、様々な人が文化芸術に関わることで、誇りや生きがいを感じ、またその中で地域の絆を育み、その輪が広がっていくことで地域の未来がより明るいものとなることを期待し、日々努力と工夫を重ねてきている。

アルカス演劇さーくるは、不特定多数の者を対象としており、小学生から 80 代までの佐世保市近郊の方が参加している。中には地元で活動している劇団員や市内地区公民館職員もおり、両者はこの活動を通して得た知識や人脈を生かし、他地区でも演劇鑑賞や演劇の手法を用いたコミュニケーションワークショップを開催するなど、本事業外での活動も始まっている。アルカス演劇さーくるという場が、地元劇団と地域の人を繋ぐ一助になったと考えている。

これらのことから、主に人材養成事業・普及啓発事業を中心に、実演芸術等の振興および地域の文化芸術の発展に寄与できたと考える。

(5) 持続性

自己評価

事業を通じて組織活動が持続的に発展する（と認められる）か。

【指定管理について】

当財団は、佐世保の文化の振興及び地域活性化、多様で豊かな魅力ある町づくりを推進することを目的に設立された市の外郭団体であり、約 20 年に渡る活動の中で蓄積されたノウハウ・ネットワークをもとに、文化事業を推進する市のパートナー、公益と経営を両立した文化事業の実践者として、また最も市民に身近な文化・芸術の支援者としての活動が期待されている。

令和 3 年度からの指定管理については、新たに佐世保市民文化ホールと佐世保市博物館島瀬美術センターを含めて財団が管理運営することを計画し、令和 2 年 12 月に指定管理者として指定を受けることが出来た。今後三館を一元管理することで相乗効果や効率化を図り、三館が県北地域における「文化の創造活動の拠点」及び「地域活性化の拠点」として機能を最大限に発揮できるよう施設の管理運営を行っていく。

【人材面】

開館準備段階より活動を行っているホールボランティアは、毎年度の登録制となっており、接遇研修や消防・防災訓練への参加を重ね、社会に貢献できる人材の育成の場となっている。令和 2 年度は、新型コロナウイルス感染症の拡大による公演中止や延期のため活動回数が減少したが、フロントスタッフ活動において新型コロナウイルス感染拡大防止対策が必要となったことにより、来場者が安全で安心して公演を鑑賞できる対応について意識が向上した 1 年であった。

登録者数：54 名（令和 3 年 3 月末現在）

【財務面】

財源確保の取り組みとして、平成 16 年度よりオフィシャルスポンサー制度を導入。総額の内一部を公演への協賛金としていただいている。

ジュニアオーケストラの活動についても、法人・個人のスポンサー制度を設けており、いただいた資金は楽器購入・運営資金として使用している。定期演奏会、開講式への招待のほか、写真や報告書において活動の様子をお知らせし、支援の継続をお願いしている。

アルカス SASEBO の友の会組織である「アルカスクラブ」は、ゴールド、オレンジ、ホワイトの個人会員 3 種で運営しており、優待公演等を実施している。

会員の男女比は男性 25%、女性 75%で、年齢層は最も多く占めているのは 70 代で 47.3%、次いで 60 代が 31.9%と 60 代以上の方が全体の 79.2%を占める。会員数は年々減少傾向にあり、会員入会促進のための対策などが必要だと考えている。

会員数：ゴールド 961 名、オレンジ 161 名、ホワイト 638 名 計 1,760 名（令和 3 年 3 月末現在）

【各方面とのネットワーク】

九州類似ホール連絡会に在籍しているほか、ジュニアオーケストラを運営している他館との意見交換・情報共有も定期的に行っている。